

平成18年1月24日
北海道電力株式会社

定期検査中の泊発電所1号機で確認された非常用排気筒のひび割れについて【続報】

泊発電所1号機(加圧水型軽水炉、定格電気出力57万9千キロワット)は、平成17年12月26日から第13回定期検査を実施していますが、非常用排気筒の点検を実施した結果、平成18年1月6日、補強材溶接部付近に貫通したひび割れを3箇所(最大で約14cm)確認しました。

なお、非常用排気筒は事故時に使用するための設備であり、通常時は使用していません。

また、当該部位は原子炉建屋内の放射線管理区域内であることから、ひび割れ部から空気が漏れたとしても、直接放射線管理区域外に放出されることはありません。

この事象による環境への放射能の影響はありません。

(平成18年1月6日お知らせ済み)

その後、ひび割れ部の切り出しを実施し、外部の研究所にて、ひび割れ近傍の液体浸透探傷検査を実施した結果、本日、さらに1箇所(約3cm)のひび割れを確認しました。

今後、合計4箇所のひび割れ部について、引き続き詳細な調査を実施して原因究明を行います。

(平成18年1月11日お知らせ済み)

平成18年1月11日のお知らせ後から調査を進めた結果、本日、前回切り出した箇所とは異なる溶接部付近に、新たに2箇所(最大で約5cm、うち1箇所は貫通)のひび割れを確認しました。

これで、外面からのひび割れ調査は終了し、非常用排気筒のひび割れ部は合計6箇所(最大で約14cm、うち5箇所は貫通)であることを確認しました。

今後、合計6箇所のひび割れ部について、引き続き、外部の研究所にて詳細な調査を実施して原因究明を行います。

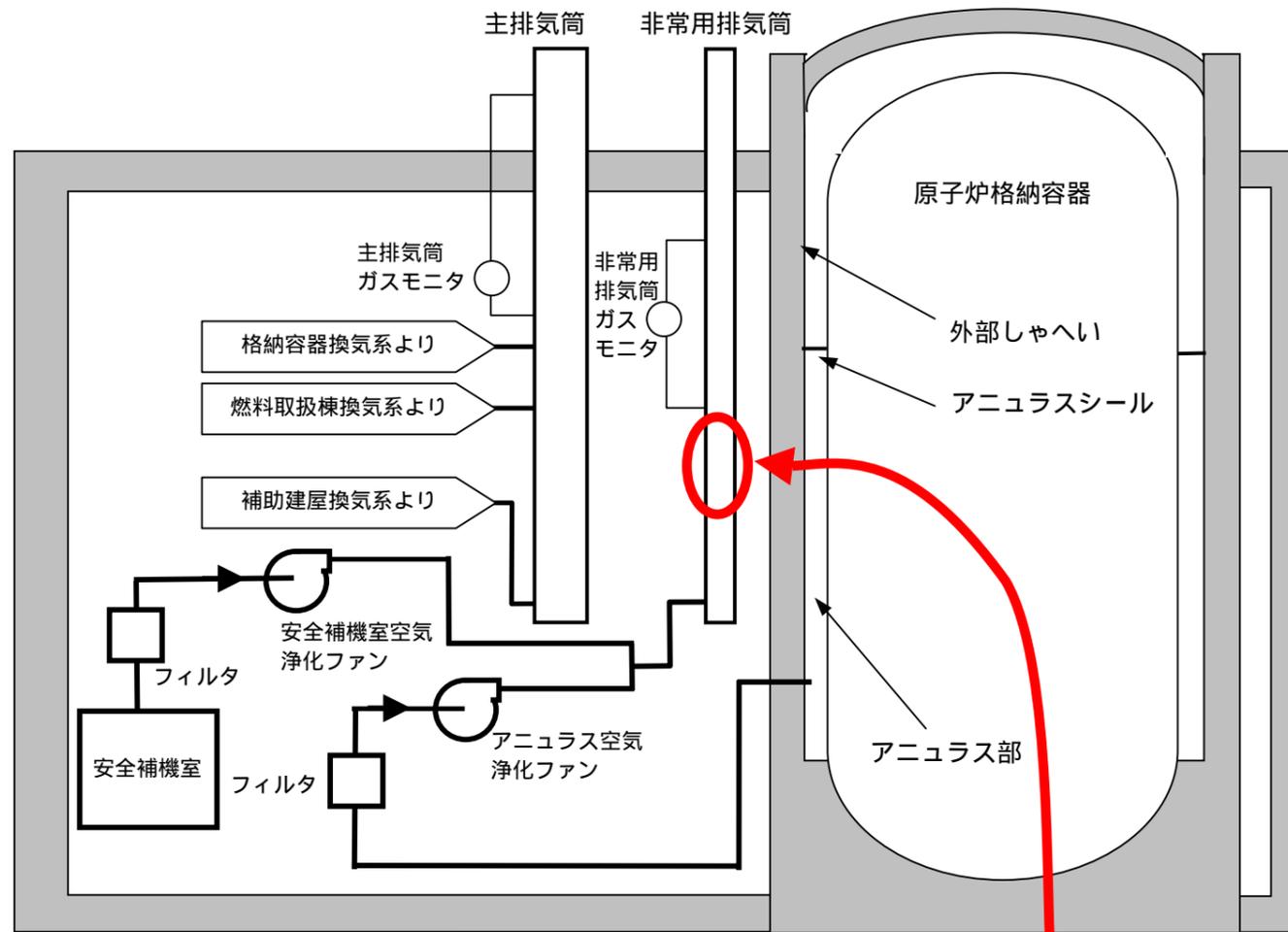
< 添付資料 >

- ・ 泊発電所1号機 非常用排気筒のひび割れについて(続報)

泊発電所 1号機 非常用排気筒のひび割れについて (続報)

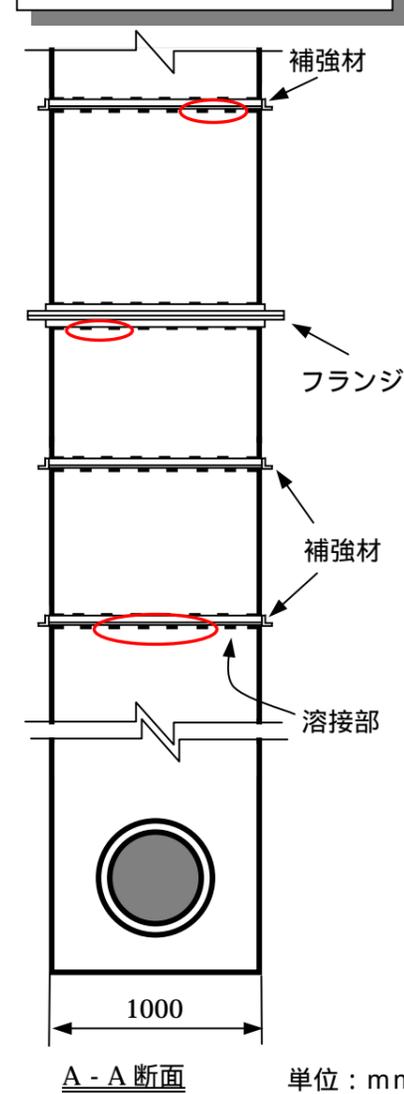
添付資料

概略系統図

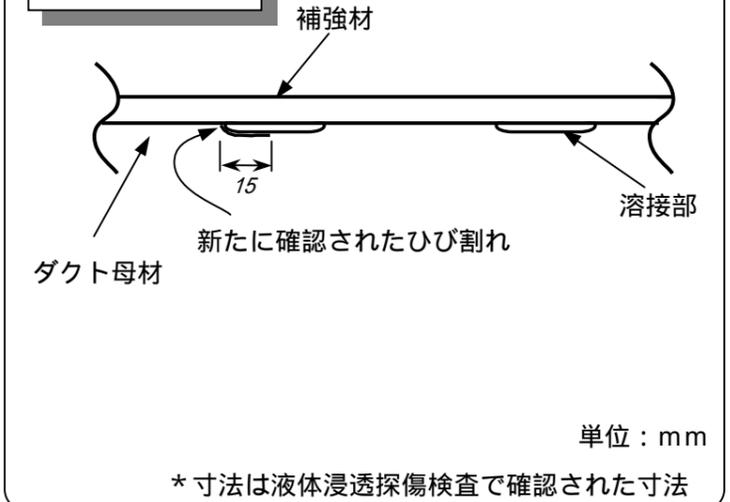


ひび割れが確認された箇所

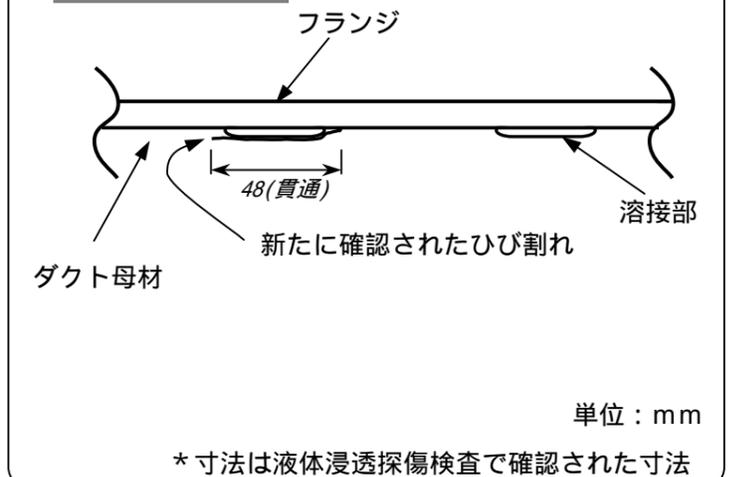
ひび割れ発生場所拡大図



部詳細図



部詳細図



仕様

1号機非常用排気筒

地上高さ 57.6m
(標高高さ67.6m)

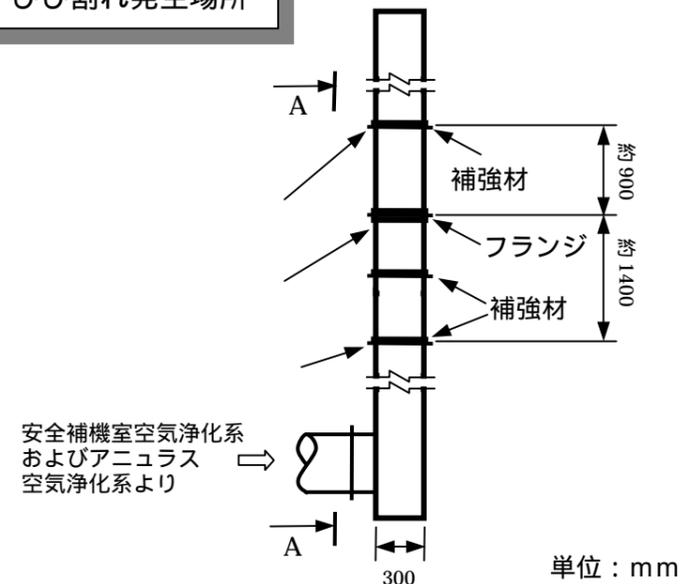
内径(頂部)0.3×1.5m

内径(脚部)0.3×1.0m

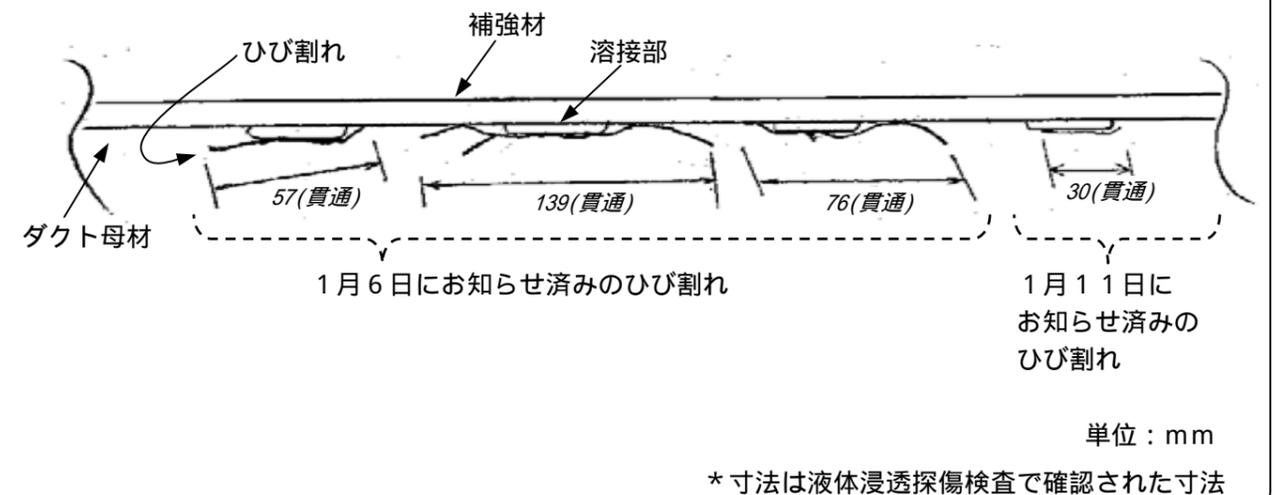
材料 ステンレス鋼

厚さ 2.0mm

ひび割れ発生場所



部詳細図



泊発電所 1号機 非常用排気筒 液体浸透探傷検査の状況 (貫通部)

